

第3委員会報告資料

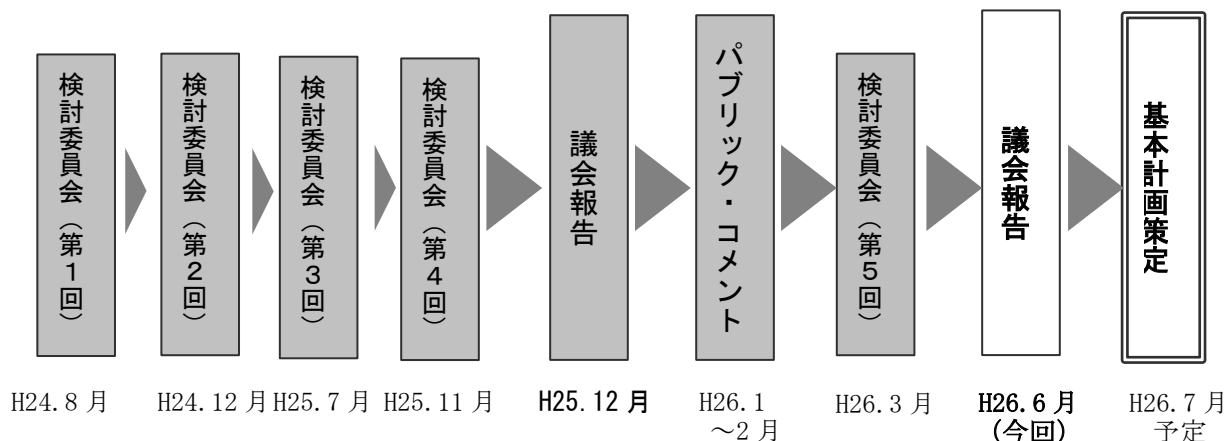
報告事項2

国史跡福岡城跡整備基本計画案について

平成26年6月
経済観光文化局

I 策定の流れと意見募集の実施結果について

1. 策定の流れについて



2. 意見募集の実施結果について (概要)

(1) 実施目的

「福岡城跡整備基本計画」の策定にあたり、検討委員会での議論を踏まえて取りまとめた計画原案について、市民の意見を反映するため、パブリックコメント手続きによって意見募集を実施した。

(2) 公表・意見募集期間

平成26年1月6日から平成26年2月4日まで(30日間)

(3) 実施方法

① 計画原案の公表方法

計画原案について、下記の場所で縦覧・配布を行うとともに、市のホームページにおいて掲載した。

《縦覧・配布場所》

大規模史跡整備推進課、情報公開室、情報プラザ、各区役所情報コーナー、
入部出張所、西部出張所、福岡城むかし探訪館、鴻臚館跡展示館

② 意見募集の周知方法

- ア. 市政だよりによる周知
- イ. 市ホームページによる周知
- ウ. 新聞広告による周知
- エ. テレビを活用した周知(テレビCM放映、テレビ番組内での告知)
- オ. デジタルサイネージを活用した周知(ソラリアビジョン、市役所1階)
- カ. 現地(舞鶴公園、大濠公園)での周知

③ 意見の提出方法

意見提出用紙を計画原案の縦覧・配布場所で配布するとともに、市ホームページにも掲載し、縦覧・配布窓口への持参、郵便、FAX、電子メールによって意見を受け付けた。

(4) 意見の提出状況

①意見提出者 96人

(提出方法 持参4人・FAX2人・電子メール10人・現地意見80人)

②意見件数 115件

該当項目		意見数	割合
第1	整備基本計画策定の目的	1	0.9%
第2	福岡城跡の概要と現状	0	0%
第3	整備の理念と基本方針	5	4.3%
第4	基本計画		
	1 地区区分計画	0	0%
	2 保存修復計画	0	0%
	3 復元整備計画	50	43.5%
	4 環境整備計画	32	27.8%
	5 調査研究計画	0	0%
	6 周辺地域の環境保全・整備計画	1	0.9%
	7 公開・活用計画	8	7.0%
	8 管理・運営計画	5	4.3%
第5	事業計画		
	1 段階的整備計画	4	3.5%
	2 事業推進のための取組み	3	2.6%
その他		6	5.2%
合計		115	100%

(5) 主な意見

計画原案に対して全般にわたり意見が寄せられたが、主なものは以下に記載のとおり。

①整備基本計画策定の目的・・・1件

- ・検討体制等について、一般市民の参加が少ないため、市民意見は反映がしにくい。また、検討テーマも、鴻臚館、福岡城、セントラルパークを同時に計画すること自体が難しい。

②整備の理念と基本方針・・・5件

- ・福岡市の原点は古代からの大陸との交流の窓口である博多だと考えられることから、福岡城を原点とする表現には反対。
- ・市民が一番望むものは城の象徴でもある天守閣であるため、復元の必要性がある施設については、幕末期にこだわらず、整備の可能性について検討を進めていく、と修正して頂きたい。

③基本計画・・・96件

保存修復計画

- ・歴史の復元をするのであれば、きちんと文献を基に当時を再現できるのであれば賛成。
- ・城は復元しない方がよい。
- ・天守閣は造った方がよい。早く進めて欲しい。
- ・天守閣については確実に有ったという証拠が出てこない限り造るべきではない。
- ・現存建築物である太鼓櫓（伝潮見櫓）の移築、花見櫓・潮見櫓の城内復元が先決。

- ・石垣の調査をじっくりやったほうがいい。
- ・明治通りの東の端（高等裁判所）から西の端（簡易保険所）までの城郭を見える形に整備すると福岡城の広い敷地が分かり、市民の意識も高まる。
- ・年長者、障害者のための昇降用の設備。
- ・今の自然・環境を残して良い舞鶴城を。
- ・福岡の歴史がわかりやすいガイドや施設をつくってほしい。
- ・平和台球場や戦争の記憶など古代～近現代までの歴史がもっとわかると良い。
- ・授乳室。カフェ。小さい子連れでも行きやすい場所を作って欲しい。
- ・お店は少ない。自然だけでいい。
- ・福岡と博多周辺に歴史資料館を整備し、福岡城（鴻臚館）跡との一体化に配慮した展示・回遊を行って欲しい。
- ・プロジェクションマッピングは集客力のあるイベントであるため、福岡の歴史、祭りや食、文化の映像など盛り込んで行ってはどうか。

④事業計画・・・8件

- ・テニスコートの移転を早急に実施のこと、城の景観を阻害している。二ノ丸の球技場も、せめて短期計画に入れるべき。
- ・大掛かりな経費をかけるのはどうなのかと思う。
- ・1口城主や基金の設立等を早急に行って頂きたい。

⑤その他・・・6件

- ・黒田官兵衛や黒田二十四騎の銅像等を、ゆかりのある復元建造物の周辺に設置する。
- ・福岡全体をテーマパークに見立て、将来的に市内各地をロープウェイで繋ぎ、舞鶴、大濠公園にも駅（セントラルパーク）を作ってはどうか。

(6)意見への対応状況

ア. 意見の趣旨を踏まえ原案を修正するもの・・・63件

<主な修正内容>

- ・復元建造物について、今回復元対象としない建造物についても、今後、資料等が確認された場合は復元対象となりえるか検討することを追記。
- ・バリアフリーについて、「ユニバーサル都市 福岡」の理念を追記。
- ・休憩施設について、段階的な整備、検討を行うことを追記。

イ. 原案を変えないもの（意見の趣旨がすでに記述してあるものを含む）・・・50件

ウ. その他の意見・・・2件

計115件

Ⅱ 国史跡福岡城跡整備基本計画の概要

1. 整備基本計画策定の目的 (P1~5)

(1) 目的 (P1)

- ①国史跡福岡城跡を適切に保存し、継承
- ②本市の歴史・文化・まちづくりに寄与

(2) 意義

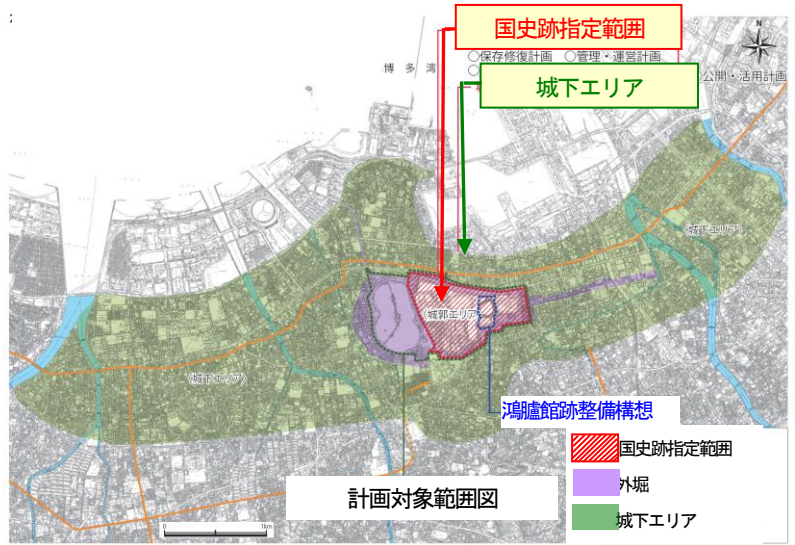
- ①市民の郷土愛を育む本市の歴史的シンボル
- ②歴史的価値の向上と未来への継承
- ③市民に憩いとロマンを与える環境の形成
- ④「見どころ」の創出による経済的活力向上

(3) 想定期間 (P2)

平成26年度～平成40年度までの15年間

(4) 対象範囲 (P3)

- ①「国史跡福岡城跡」の指定範囲
- ②周辺環境整備のため城下エリアも対象



2. 整備の理念と方針 (P59~60)

(1) 基本理念 (P59)

- ①福岡城を本市の歴史のおよび文化財保護の象徴とし、後世へ継承
- ②観光やまちづくり、文化財活用ネットワークの拠点化
- ③魅力ある多面的な活用を市民一体となって推進

(2) 基本方針 (P60)

- ①復元対象時期は幕末期(史跡鴻臚館跡を除く)
- ②文化財的価値の保存と顕在化の推進
- ③歴史の重層性をわかりやすく表現
- ④史跡地内の現代諸施設の廃止・移転を推進
- ⑤史跡と都市公園が調和した良好な景観を形成
- ⑥学び、楽しめる空間や機能を創出
- ⑦「ユニバーサル都市 福岡」の理念を配慮した整備

3. 基本計画 (P61~98)

(1) ゾーニング (P61~62)

(区分)	(整備の考え方)
本丸・二ノ丸ゾーン	・櫓等を重点的に復元整備 ・城郭としての景観形成と保全
三ノ丸ゾーン	・市民の活用と憩いの場づくり ・城の雰囲気を活かした空間形成
門・堀・土塁ゾーン	・外部からみた「城らしさ」の修景
鴻臚館ゾーン	・福岡城との調和した景観形成 ・歴史の重層性を表現



4. 事業計画 (P100~107)

(1) 段階的事業計画の推進 (P100~106)

短期 (5年)

『福岡城跡の骨格の顕在化による魅力発信と誘客』

復元：潮見櫓
 修理：長屋門、多聞櫓
 石垣
 事業費：約22億円

中期 (6~15年)

『福岡城跡の歴史の重層性の表現と歴史的景観及び利活用の充実』

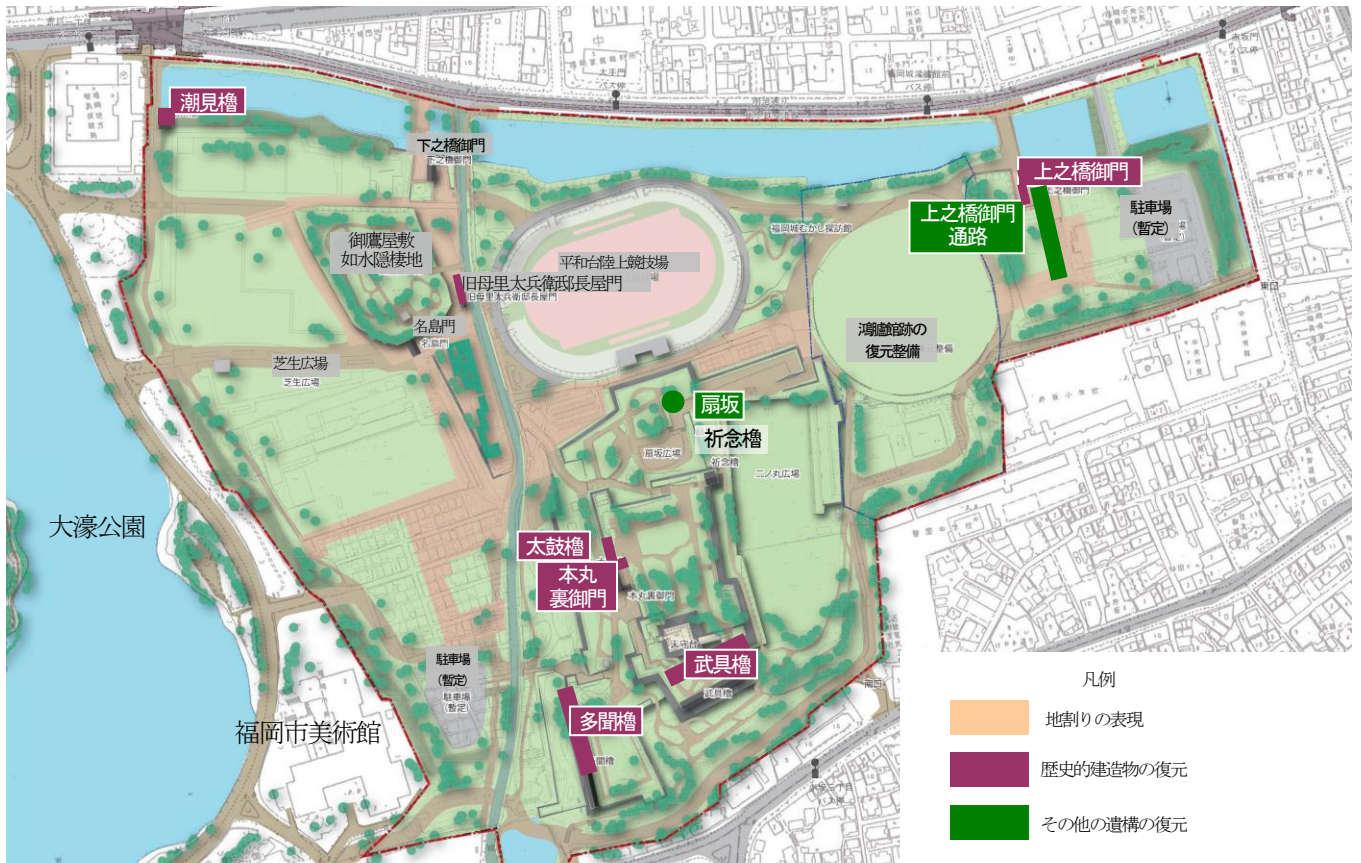
復元：武具櫓、裏御門、太鼓櫓
 祈念櫓、扇坂など
 修理：石垣
 事業費：約48億円

将来像(16年~) (参考)

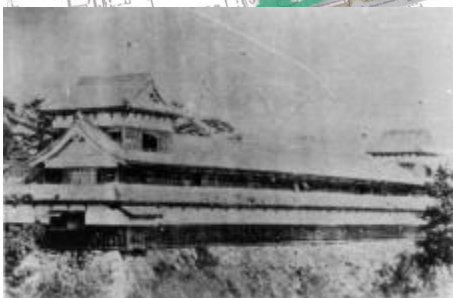
『福岡城跡を歴史資源保存・活用のシンボルに』

復元：花見櫓、表御門
 本丸御殿など
 修理：石垣など

福岡城跡整備基金 (仮称) の創設・寄付募集 ~市民と一体となった整備の推進~ (P107)



遺構整備計画図(将来像)



城内にあった頃の武具櫓(古写真)
 福岡城最大規模の建造物
 長さ約63m、三階櫓高さ約13m



将来像 (本丸・二の丸ゾーン)